

資料提供(投げ込み) 平成30年8月22日(水)	
場所 津市政記者室	
事務担当課	
所 属	職・氏 名
健康福祉部 福祉政策課 (電話059-229-3150)	福祉政策課長 古市 和久

学校法人高田学苑による 白い小箱（非常用備蓄食品）の寄贈について

学校法人高田学苑から、白い小箱（非常用備蓄食品）を津市に寄贈していただきます。

つきましては、下記のとおり贈呈式を行います。

記

- 1 日時
平成30年8月27日(月) 13時から
- 2 場所
庁議室（市本庁舎4階）
- 3 出席者
 - (1) 贈呈者
学校法人高田学苑
高田短期大学 学生自治会執行委員会（学生5人）
学生課長 大橋 一喜
学生係 生桑 崇
一般社団法人日本非常食推進機構 太田 瑠美
 - (2) 受領者
津市長 前葉 泰幸
- 4 寄贈品
白い小箱（非常用備蓄食品） 約400個
- 5 寄贈の趣旨
地域貢献活動として取り組む白い小箱運動の一環で、学内及び校内での非常用備蓄という役割を終えた賞味期限の残る白い小箱（非常用備蓄食品）を協賛者である高田短期大学、高田高等学校及び高田中学校の卒業生から御提供いただき、防災意識向上に係る取り組みなどに有効活用するため、市内の児童養護施設や老人福祉施設へお届けする。

■ 寄贈品（白い小箱）



(梱包サイズ たて 22cm×よこ 24cm×高さ 9.5cm)

【 内 容 】

- | | |
|------------------|-----|
| ・ ウェットシート | 1 袋 |
| ・ レスキューシート | 1 枚 |
| ・ 保存水 500 ミリリットル | 2 本 |
| ・ 氷砂糖 | 1 袋 |
| ・ 羊羹 | 1 個 |
| ・ 簡易トイレ | 2 枚 |
| ・ 缶づめパン（チョコ味） | 1 缶 |

白い小箱運動とは

社団法人日本非常食推進機構の働きかけのもと、平成23年度に始まった運動です。
1人分の非常用備蓄食品を詰めた白い小箱を家庭や職場などに常備することによって、各々の防災意識を向上させる「自助」の仕組み、大規模な災害が発生した場合には白い小箱を支援物資として利用し、地域住民や企業が連携しながらお互いに助け合うことができる「共助」の仕組み、行政が中心となり共に運動を進める「公助」の仕組みを三本の柱として、いつどこで起こるか分からない様々な災害に備え、日本全国どこにいても助け合える仕組みを作り上げるための備蓄品として、同機構が白い小箱の配置を推進しています。